

# 桑畑を再生、農産物の6次産業化で、目指せ 地域ブランド！

令和2年11月時点

03

〔運営主体：社会福祉法人フォーレスト八尾会〕〔事業所：就労継続支援B型事業所「おわらの里」〕（富山県富山市）

WEBサイト：<http://www.cty8.com/forest/>

視察受入れ：可

報道機関受入れ：可

- 富山県富山市にある「おわらの里」は、社会福祉法人フォーレスト八尾会が設置した就労継続支援B型事業所。現在は、知的障害・身体障害等を含む約40名の利用者が、主に桑の栽培と加工を行っている。
- 桑の葉は、障害者が1枚1枚を手摘みによって丁寧に収穫・洗浄・乾燥し、品質を維持。
- 平成24年度には、桑の葉を用いた加工品の製造設備を導入。桑茶やマルベリージャムなどの加工品の量産化に成功し、工賃向上に取り組んでいる。

## 取組の内容

- ◆ 平成16年度から、耕作放棄地を障害者とともに再生して、現在は約40aで桑の栽培を実施。
- ◆ 障害者は、桑の葉と桑の実（マルベリー）の収穫と洗浄、乾燥及び加工作業などを通年で実施。
- ◆ 平成18年度から、桑の葉を利用した茶、せんべい、ケーキ及びペットボトル飲料など多様な加工品を製造・販売している。
- ◆ 平成28年度には、町内農業者から約40aの農地を借り受け、水稻や野菜の栽培も開始。
- ◆ 平成29年度「農山漁村振興交付金」を活用し、桑や野菜の出荷調製のための作業所を新設。

## 取組の効果

- ◆ 市内の八尾地域では、桑の栽培農業者はいなくなったが、事業所が桑栽培の引き受け手となることにより、桑という貴重な農産物を守ることに繋がっている。  
また、桑の葉と実を利用することにより、桑という地域資源を新たな形で維持することができている。
- ◆ 作業所の新設により、作業効率が向上した結果、桑の葉（乾物）の生産量が年間50kgも増加した。
- ◆ 加工品の売上は、平成28年度の約860万円から、令和元年度は約1,060万円に増加した。また、売上げに伴い、利用者数を4名増やすことができた。

桑の葉の収穫



桑の葉の洗浄



桑の葉せんべいの加工作業



桑の葉を利用した加工品



作業所の新設

